

航空自衛隊築城基地における再生骨材への取り組み

○航空自衛隊築城基地の滑走路においては、経年劣化により、航空機の安定的な運用に支障をきたしかねないことから、現在、改修工事を実施。

○既設滑走路のコンクリート舗装版は、基地内のヤードにおいて破砕機で処理した上で再生骨材として路盤材で再利用。

○再生骨材への取り組みを行うことで、将来、滑走路を改修する際にも、基地内外の車両の通行による騒音・振動等を低減し、基地周辺的生活環境への影響に配慮していく。

【参考】 築城基地における再生骨材の状況

骨材の再生サイクルについて

①舗装版の撤去



②破砕機での処理



③路盤への再利用



④滑走路完成

